

試験ブループリントガイド

Nutanix認定プロフェッショナル クラウドネイティブ（NCP-CN）7.5 試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	4
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	5
2. 対象者	6
3. NCP-CN 7.5試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - NKPをデプロイするための環境を準備する	7
セクション2 - NKPクラスタの構築を管理する	10
セクション3 - NKPのデイ2運用を実行する	11
セクション4 - NKPフリートの管理を実行する	15
4. NCP-CN 7.5トレーニングの推奨事項	20
4.1 コースの推奨事項	20
5. リソース	21
5.1 Nutanix Community Edition	21
5.2 テストドライブ	21
5.3 Nutanix Community	21
5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース	21

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Ahmad Irffan シニアレジデントコンサルタント

Ashish Sharma サービスプロバイダーソリューションアーキテクト

Chad Lucas アドバイザリーシステムエンジニア - Global Select

Craig McDaniel システムセールスエンジニア

Daemon Behr アドバイザリーシステムエンジニア

Dheeraj Yadav コンサルタント3

Jai Prakash シニアSRE

Jérémie Moreau スタッフコンサルティングアーキテクト

Lev Goronshtein アドバイザリーシステムエンジニア

Marco Fabbri エンタープライズアーキテクト - Serenno

Stephen Edge プリンシパルアーキテクト - Edge Solutions

Vincent Meoc クラウドネイティブソリューションアーキテクト

免責事項:

Nutanix認定プロフェッショナル - クラウドネイティブ (NCP-CN) 7.5試験ブループリントガイドは、NCP-CN 7認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-CN 7認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル – クラウドネイティブ (NCP-CN) 7.5 試験は、Nutanix Kubernetesプラットフォーム (NKP) クラスタのデプロイと、構成、および管理をする受験者の能力を評価します。

1.2 問題数

NCP-CN 7.5試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-CN 7.5試験の受験料は、200米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、NKPクラスタのデプロイと、構成、および管理に関連して特定されたタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

NCP-CN 7.5試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面試験を選択した場合は、お近くの試験会場を選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-CN 7.5試験は、Nutanixクラウドネイティブトラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-CN 7の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。各受験の間には7日間の待機期間が必要です。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。これには、試験資料の複製および再配布、試験中のあらゆる種類の学習資料の使用、試験問題の撮影の試み、および虚偽の身元での受験が含まれます。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

NCP-CN 7.5試験に合格し、NCP-CN 7認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-CN 7.5試験および NCP-CN 7認定資格は、Kubernetesクラスタの構築および管理の経験が6～12カ月以上、Linuxの使用経験が6～12カ月以上、およびKubernetesプラットフォームの経験が6カ月以上あるか該当するトレーニングを受講した方を受験対象者として想定しています。

合格者には、対象プラットフォームに関する基礎知識と、基本的なネットワークおよびクラウドネイティブの概念に関する理解、および認定Kubernetes管理者（CKA）認定資格レベルの知識が求められます。

一般的な合格者は、DevOps エンジニアや、クラウドエンジニア、NKP管理者、プラットフォーム管理者、またはプラットフォームエンジニアです。また、ソリューションアーキテクトや、開発者、システムエンジニア、システム信頼性エンジニアなども合格者になっています。

Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理（NKPA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-CN 7.5試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-CN 7.5試験を受験する前に、NKPクラスタのデプロイと、構成、および管理に必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-CN 7の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- NKP : バージョン2.17
- AOS : バージョン7.5
- Prism Central : バージョンpc.7.5

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - NKPをデプロイするための環境を準備する

目標1.1 : プライベートレジストリをシードする

知識

- レジストリをシードする目的を認識する
- レジストリのシードコマンドのパラメータを決定する
- レジストリをシードするワークフローを理解していることを示す
- レジストリのシード中に発生する問題をトラブルシューティングする
- プライベートレジストリのネットワーク要件を認識する

参考資料

- [エアギャップクラスタ用のレジストリのシード](#)
- [エアギャップ環境 vs 非エアギャップ環境](#)
- [レジストリの読み込み](#)

- [レジストリとレジストリミラー](#)
- [レジストリへのイメージのプッシュ](#)
- [プライベートレジストリを信頼するためのカスタムルート証明書の実インストール](#)

目標1.2：ブートストラップクラスタを作成する

知識

- [ブートストラップクラスタを作成する目的を認識する](#)
- [ブートストラップクラスタを作成するためのパラメータを決定する](#)
- [ブートストラップクラスタを作成するワークフローを理解していることを示す](#)
- [ブートストラップクラスタの作成中に発生する問題をトラブルシューティングする](#)

参考資料

- [クラスタAPI（CAPI）の概念と用語](#)
- [Nutanixのインフラストラクチャー要件](#)
- [CLIを使用したNKP管理クラスタの作成](#)
- [パブリッククラウドプロバイダー上でのNKP管理クラスタの作成](#)
- [NKPブートストラップサブネットおよびゲートウェイの変更](#)
- [NKP診断バンドルの作成](#)
- [NKPサポートバンドルの生成](#)

目標1.3：クラスタのライセンス階層を決定する

知識

- [ライセンスタイプごとの機能レベルを区別する](#)
- [ユースケースに適したライセンス階層を選択する](#)
- [ライセンスを取得する手順を特定する](#)

参考資料

- [NKPのライセンス](#)
- [NKPの機能サポートマトリックス](#)
- [NKPのソフトウェアオプション](#)

- [UIを通じたNKPライセンスの追加](#)

目標1.4：踏み台ホストを準備する

知識

- 踏み台ホストの目的を認識する
- 踏み台ホストの前提条件とコンポーネントを理解していることを示す
- 踏み台ホストのネットワーク要件を認識する

参考資料

- [踏み台ホストの目的](#)
- [踏み台ホストの作成](#)
- [NutanixマーケットプレイスのUIを使用したNKPのデプロイ](#)

目標1.5：マシンイメージの構築またはノードの準備をする

知識

- CLIを使用したマシンイメージの構築の目的と手順を理解していることを示す
- CLIを使用したノードの準備の目的と手順を理解していることを示す
- マシンイメージを構築するための前提条件を認識する
- マシンイメージの構築およびノードの準備に必要な最小要件を認識する
- イメージの構築やノードの準備の手順をどのようにカスタマイズするかを決定する
- エアギャップ環境でイメージを構築するために必要な変更を理解していることを示す

参考資料

- [Nutanix VMイメージの作成](#)
- [Nutanixを使用したカスタムイメージの構築](#)
- [Nutanixが提供するイメージの使用](#)
- [NKPのコントロールプレーンおよびワーカーノードのリソース要件](#)
- [事前プロビジョニング済み環境におけるインフラストラクチャーの定義](#)
- [サポートされるインフラストラクチャーのオペレーティングシステム](#)

目標1.6：ターゲットプロバイダー上でクラスタを構築するための情報を収集する

知識

- ターゲットプロバイダー上でクラスタを構築することに関連するパラメータを特定する
 - ネットワーク要件
 - 接続の詳細
 - ストレージ要件
 - コスト/SKU

参考資料

- [AzureでのNKPクラスタの作成](#)
- [AKSでのNKPクラスタの作成](#)
- [AWSでのNKPクラスタの作成](#)
- [EKSでのNKPクラスタの作成](#)
- [GCPでのNKPクラスタの作成](#)

セクション2 - NKPクラスタの構築を管理する

目標2.1：クラスタのカスタマイズとデプロイをする

知識

- NKP CLIを使用してクラスタの構築およびデプロイをする
- ユースケースを踏まえて、カスタマイズのためにクラスタAPIの各種コンポーネントを使用するタイミングと方法を決定する
- クラスタのデプロイに関する問題を診断するための手順を決定する
 - 分析すべきクラスタAPIリソースを決定する
- クラスタのデプロイのためにカスタムマニフェストを使用するタイミングと方法を決定する
 - 対応するクラスタAPIリソースとその構成パラメータを決定する
- 特定のクラスタデプロイメントのユースケースに必要なNKP CLIパラメータを分析する

参考資料

- [エアギャップNKP環境をデプロイするための段階的ガイド](#)
- [NKPインストールの前提条件](#)
- [CLIを使用したNKP管理クラスタの作成](#)
- [事前プロビジョニング済みのエアギャップ環境：新しいクラスタの作成](#)
- [事前プロビジョニング済みのインフラストラクチャー](#)
- [事前プロビジョニング済みのインストールオプション](#)
- [事前プロビジョニング済みのエアギャップ環境：環境の構成](#)
- [HTTPまたはHTTPSプロキシの構成](#)

目標2.2：Kommanderのカスタマイズとデプロイを行い、適切なライセンスを適用する

知識

- [NKP CLIを使用してKommanderの構築とデプロイをする](#)
- [Kommanderのデプロイに関する問題を診断するための手順を決定する](#)
- [Kommanderのデプロイのためにカスタムマニフェストを使用するタイミングと方法を決定する](#)
 - [対応するプラットフォームアプリケーションリソースとその構成パラメータを決定する](#)
- [特定のKommanderデプロイメントのユースケースに必要なNKP CLIパラメータを分析する](#)

参考資料

- [エアギャップ環境へのKommanderのインストール](#)
- [小規模環境へのKommanderのインストール](#)
- [構成ファイルを使用したKommanderのインストール](#)
- [Kommanderの構成の追加カスタマイズ](#)
- [NKP Full Stackライセンスの有効化](#)
- [サポートされるNKPアプリケーション](#)

セクション3 - NKPのデイ2運用を実行する

目標3.1：認証と認可を構成する

知識

- IDプロバイダーとグループを構成する
- Kommander ロールとクラスタロールを区別する
- カスタムロールおよびロールバインディングを構成する
- トークンを使用してユーザーを認証する
- 環境コンテキストとロール継承を理解していることを示す

参考資料

- [IDプロバイダー](#)
- [OpenID Connect \(OIDC\)](#)
- [NKPクラスタへのユーザーのオンボーディング](#)
- [KubernetesおよびKommander リソースへのアクセス](#)
- [Kommander ロールの制限](#)
- [アクセス制御](#)
- [ロールバインディング](#)
- [グローバルIDプロバイダーのトークン認証の構成](#)
- [ワークスペースIDプロバイダーのトークン認証の構成](#)

目標3.2 : ロギングを構成する

知識

- ロギングスタックを理解していることを示す
- ロギングスタックをスケールする
- プロバイダーとのログ転送を統合する
- マルチテナント環境でロギングを管理する
- 収集と分析をすべきログを決定する
- Nutanixユニファイドストレージ (NUS) に永続データを統合する

参考資料

- [ロギングのアーキテクチャー](#)
- [ロギングスタックのスケーリング](#)
- [Grafana Loki](#)

- [UIを使用したロギングアプリケーションの有効化](#)
- [Rook Ceph](#)
- [マルチテナントロギング](#)
- [管理者レベルのログ](#)
- [ストレージの保持期間を変更するためのConfigMapのオーバーライド](#)
- [ワークロード向けクラスタスコープの永続ストレージの管理](#)

目標3.3 : クラスタのバックアップとリカバリを構成する

知識

- [クラスタのバックアップとリカバリに関する依存関係を認識する](#)
- [クラスタのバックアップのためのターゲットストレージ要件を決定する](#)
- [バックアップ用のストレージ/ボリュームのスナップショットクラスを構成する](#)
- [Veleroを構成する](#)
- [Velero CLIを使用してバックアップとリストアを実行する](#)
- [クラスタのリストアを実行する](#)
- [ストレージレベルの保護のためにKubernetes用Nutanixデータサービス（NDK）を使用する](#)
- [バックアップに関する問題の診断と対処を行う](#)

参考資料

- [バックアップとリストア](#)
- [Veleroの構成](#)
- [Veleroバックアップリファレンスガイド](#)
- [Veleroにおけるコンテナストレージインターフェース（CSI）スナップショットのサポート](#)
- [Veleroリストアリファレンスガイド](#)
- [バックアップからのクラスタのリストア](#)
- [デフォルトのバックアップサービス設定の変更](#)
- [NKP上のKubernetes用Nutanixデータサービス（NDK）の前提条件](#)
- [エアギャップNKP環境へのNDKのデプロイ](#)
- [トラブルシューティングガイド](#)

目標3.4：パフォーマンスと健全性のモニタリングを実行する

知識

- [モニタリングスタックを理解していることを示す](#)
- [NKPモニタリングスタックの構成/有効化を行う](#)
 - [マルチクラスタ環境でモニタリングを一元化する](#)
- [サービスレベルおよびシステムレベルのメトリックをカスタマイズする](#)
- [パフォーマンスと健全性に関する問題の診断と対処を行う](#)
- [カスタムダッシュボードを使用する](#)
- [モニタリングアラートとエンドポイントを構成する](#)
- [モニタリングアプリケーション用のバックエンドストレージを構成する](#)

参考資料

- [モニタリングとアラート](#)
- [一元化されたモニタリング](#)
- [一元化されたメトリック](#)
- [一元化されたアラート](#)
- [AlertManagerを使用したアラート](#)
- [メールでのPrometheusアラートの構成](#)
- [Prometheusのストレージ容量の設定](#)

目標3.5：クラスタのオートスケーリングを構成する

知識

- [クラスタのオートスケーリングを有効化および構成する目的とユースケースを認識する](#)
- [クラスタのオートスケーリングを有効化および構成する方法を実演する](#)

参考資料

- [Nutanixクラスタのオートスケーラーの構成](#)
- [クラスタオートスケーラーを使用したノードプールのスケーリング](#)
- [オートスケーラーを使用したスケールアップ](#)

- [オートスケーラーを使用したスケールダウン](#)

目標3.6：ライフサイクル管理機能を実行する

知識

- クラスタをアップグレードする
- エアギャップクラスタをアップグレードする
- クラスタの構成をアップデートするタイミングと方法を決定する
- ノードプールを管理する
- クラスタを手動でスケールする
- NKP CLIを使用してクラスタを削除する

参考資料

- [Nutanixインフラストラクチャー上の管理クラスタおよび管理対象クラスタのアップグレード](#)
- [他のインフラストラクチャー上の管理クラスタおよび管理対象クラスタのアップグレード](#)
- [ノードプール情報の構成](#)
- [ノードプールの手動スケールアップ](#)
- [ノードプールの手動スケールダウン](#)
- [NKP UIを使用したGPUノードプールの追加](#)
- [vSphere：ノードプールのスケーリング](#)
- [クラスタの削除](#)

セクション4 - NKPフリートの管理を実行する

目標4.1：ワークスペースを構成する

知識

- ユースケースを踏まえて、ワークロードクラスタのワークスペース割り当てを決定する
- ワークスペースの目的とユースケースを認識する
- インフラストラクチャープロバイダーを構成する
- ワークスペースレベルでアクセス制御を構成する
- ワークスペースにアプリケーションをデプロイする

- [Insightsの目的とユースケースを認識する](#)

参考資料

- [ワークスペース](#)
- [ワークスペースのロールバインディングの構成](#)
- [インフラストラクチャプロバイダー](#)
- [NKPにおけるマルチテナンシー](#)
- [ユーザーロールを使用したAWSインフラストラクチャプロバイダーの構成](#)
- [ワークスペースアプリケーション](#)
- [クラスタごとのアプリケーションのカスタマイズ](#)
- [NKP Insightsの概要](#)
- [NKP Insightsのインストール](#)
- [NKP Insightsのリソース要件](#)

目標4.2 : ワークロードクラスタをワークスペースにデプロイする

知識

- [ワークロードクラスタをデプロイする目的とユースケースを認識する](#)
- [ワークロードクラスタのデプロイ方法を決定する](#)
- [ターゲットプロバイダーの環境がワークロードクラスタのデプロイに与える影響を認識する](#)
- [ワークロードクラスタのデプロイに関するトラブルシューティングをする](#)

参考資料

- [新しいクラスタの作成](#)
- [NKP CLIを使用した管理対象クラスタの作成](#)
- [事前チェック](#)
- [デフォルトのストレージプロバイダー](#)
- [サポートバンドルの生成](#)
- [SSHフォールバックとAnsibleの使用](#)

目標4.3 : ワークスペースにクラスタをアタッチする

知識

- クラスタをアタッチする目的とユースケースを認識する
- クラスタのアタッチ方法を決定する
- アタッチ済みクラスタとエアギャップクラスタの構成とアップデートを行う
- アタッチ済みクラスタの機能と制限を認識する
- クラスタのアタッチに関するトラブルシューティングを行う

参考資料

- [既存のクラスタをアタッチするための要件](#)
- [ネットワーク制限なしでのクラスタのアタッチ](#)
- [ネットワーク制限ありでのクラスタのアタッチ](#)
- [トンネルを使用したアタッチの前提条件](#)
- [CLIを使用したNKPで作成されたクラスタのアタッチ](#)
- [EKS : UIダッシュボードからのクラスタのアタッチ](#)
- [EKS : CLIを使用した手動でのクラスタのアタッチ](#)
- [EKS : kubeconfigファイルの作成](#)
- [管理対象クラスタまたはアタッチ済みクラスタへのアクセス](#)

目標4.4 : ワークスペースからクラスタのデタッチまたは削除を行う

知識

- ワークスペースからのクラスタのデタッチまたは削除をする目的とユースケースを認識する
- Kommanderダッシュボードを使用してGUIからクラスタを削除する
- CLIを使用してクラスタを削除する
- クラスタのデタッチ/削除に関する問題をトラブルシューティングする

参考資料

- [事前プロビジョニング済み : クラスタの削除](#)
- [クラスタのデタッチまたは削除](#)
- [CLIを使用したクラスタの削除](#)

目標4.5 : プロジェクトを構成する

知識

- プロジェクトの目的とユースケースを認識する
- ワークロードクラスタのプロジェクトへの割り当てを決定する
- プロジェクトレベルでアクセス制御を構成する
- プロジェクトにクラスタを追加する
- プロジェクトレベルでアプリケーションをデプロイする
- Fluxの継続的デプロイ (CD) /GitOpsのデプロイを構成する
- リソースをフェデレーションする
- クラスタAPI (CAPI) とそのランタイム拡張機能を使用して宣言型構成を管理する

参考資料

- [プロジェクト](#)
- [UIを使用したプロジェクトの作成](#)
- [UIを使用したプロジェクトロールの構成](#)
- [CLIを使用したプロジェクトロールの構成](#)
- [プロジェクトのシークレット](#)
- [UIを使用したプロジェクトシークレットの構成](#)
- [プロジェクトのクォータと範囲制限](#)
- [プロジェクトのプラットフォームアプリケーション](#)
- [継続的デプロイ](#)

目標4.6 : プラットフォームアプリケーションを構成する

知識

- サポートされているプラットフォームアプリケーションを認識する
- プラットフォームアプリケーションの依存関係を認識する
- UIを使用してプラットフォームアプリケーションのデプロイ、変更、無効化、または有効化を行う
- CLIを使用してプラットフォームアプリケーションをデプロイ、変更、無効化、または有効化を行う
- Kommanderダッシュボードからプラットフォームアプリケーションのデプロイをカスタマイズする

- グローバルスコープとクラスタスコープのアプリケーション構成を区別する
- プラットフォームアプリケーションの構成に関するトラブルシューティングを行う

参考資料

- サポートされるプラットフォームアプリケーション
- UIを使用したアプリケーションの有効化
- CLIを使用したプラットフォームアプリケーションのデプロイ
- デプロイされたプラットフォームアプリケーションの確認
- UIを使用したプロジェクトカタログアプリケーションのアップグレード
- CLIを使用したカタログアプリケーションのアップグレード
- NKPアプリケーションにおける優先クラスの設定
- アプリケーションのトラブルシューティングのアプローチ
- アプリケーションのコンテキスト

4. NCP-CN 7.5 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを提供しています。配信方法や価格など、これらのコースの詳細はnutanix.com/trainingをご覧ください。

コースの詳細は以下のとおりです。

Nutanix® クラウドプラットフォーム管理 (NKPA) コースでは、Nutanix Kubernetesプラットフォーム (NKP) クラスタのデプロイと、構成、最適化、トラブルシューティング、および管理タスクの実行に必要なスキルを学習します。

NKPAのコースでは、以下のような多くのテーマを学びます：

- NKPとは何か、主要な用語と概念、エアギャップ環境と非エアギャップ環境にNKPをインストールする方法、およびNKPクラスタにライセンスを適用する方法。
- インフラストラクチャの構成や、ワークスペースの使用、クラスタの作成・アタッチ・スケーリング、プロジェクトの作成、NKPのアップグレードなど、NKPクラスタのさまざまなライフサイクル管理操作。
- IDプロバイダーの構成と、IDプロバイダーグループの作成、ワークスペースとプロジェクトロールの構成、およびロールのバインドによるアクセス制御の構成方法と管理方法。
- プラットフォームアプリケーションとは何か、NKPがアウト・オブ・ザ・ボックス (OOB) で提供するプラットフォームアプリケーションのカテゴリ（モニタリングや、ロギング、セキュリティなど）、およびプラットフォームアプリケーションのデプロイ方法。
- NKPクラスタおよびNKPクラスタ上で実行されるアプリケーションの保護方法とリストア方法。
- NKPのロギングスタック、ロギングスタックアプリケーションを有効化・カスタマイズ・スケーリングする方法、ロギングを特定の名前空間に制限する方法、およびログを表示する方法。
- メトリックを収集するコンポーネント、公開されるメトリック、コストのモニタリング、Grafanaを使用した可視化、アラートルールとアラート通知の構成方法などのNKPのモニタリング機能。

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックすると、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース

その他のクラウドネイティブに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2026 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix, Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc. の登録商標または商標です。本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。